

ひまわり



令和7年度 第2号
大道小学校便り
令和7年7月1日
文責 山西 ふじ子

勝っても負けても

少しずつ進んでいく内に児童の成長が感じられるのが魅力です。5月25日（日）に開催された運動会は、その代表のような行事です。

「全力・協力 勝っても負けても最後は笑顔」という運動会テーマを掲げ、最後まで諦めない心やみんなで力を合わせることの大切さを目標にした大会を目指してくれました。



学校行事は準備や練習が大変ですが、同じ目標に向かってみんなで汗をかき、

少しずつ進んでいく内に児童の成長が感じられるのが魅力です。5月25日（日）に開催された運動会は、その代表のような行事です。

「全力・協力 勝っても負けても最後は笑顔」という運動会テーマを掲げ、最後まで諦めない心やみんなで力を合わせることの大切さを目標にした大会を目指してくれました。

スポーツは勝負事。勝ち負けにこだわることも大切ですが、それ以上に、それぞれの頑張りを褒め讃える応援に力を注ぐ姿がありました。リーダーが一生懸命に声を出せば、それに応える団のみんながいる。応援合戦だけでなく、競技中も団席からは常に応援する声が聞こえてくる。トラックの中では、自分のチームに笑顔で声援を送る姿がある。一生懸命に競技や演技を行った子ども達を盛り上げたのは、そんな周囲の子ども達の様子でした。見る者に感動を与える力がありました。

運動会終了後のアンケートでも、ほとんどの児童が、目標の「全力・協力」が達成できたと感じていました。また、上級生では、応援団や放送係等、自分が与えられた仕事を通じて達成感を感じた児童も多く見られました。自己有用感、役割、責任感等、キャリア教育の面からも、収穫の多い大会となりました。

子ども達の最高の舞台をつくっていただきました、愛校作業（5月10日）、運動会当日午前の会場準備や駐車場係等にご尽力いただきました保護者の皆様、そして応援に駆けつけていただきましたすべての方へ感謝申し上げます。

人権の花～個性を咲かせ命をつなぐ

「山鹿市・くまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク協議会」より、令和7年度「人権の花運動実施校」に指定され、山鹿人権擁護委員協議会と共同で人権の花を育てながら、人権や生命の尊さについて学び、啓発を行っていくことになりました。昭和57年度から全国で始まったこの運動。山鹿市と菊池市が1年交代で実施しており、（令和5年度の菊鹿小→）令和6年度菊池市立戸崎小から、花の種子のバトンを受け継ぐことになりました。



5月12日（月）には、熊本地方法務局山鹿支局森支局長、人権擁護委員会の皆様をお招きし「人権の花運動種子伝達式」を行いました。伝達式の中で、生活・なかよし委員会と栽培委員会を中心とした6年生の有志13名が、花と自分たちの共通点である「命」と「個性」をテーマに、大道小学校「人権の花」運動について分かりやすく発表してくれました。

5月30日（金）には、早速花の種まきを行いました。阪神淡路大震災で亡くなった「はるかちゃん」の自宅に咲いた「はるかのひまわり」の種を鹿北小から譲り受け、一緒に植えました。作業後、高学年は、人権擁護委員さんと情報モラルに関する人権学習を行いました。